

1月うぶやま天文台星空情報②

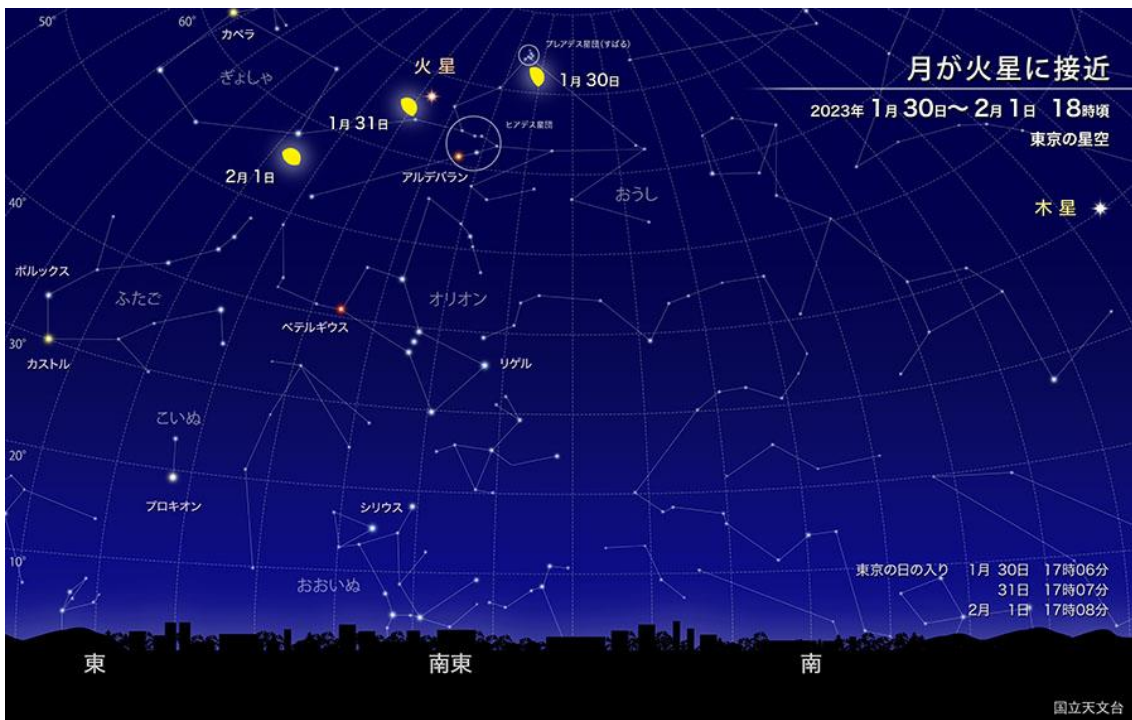
月が火星に接近 (月と火星の共演に注目！)



陽が早く暮れ、夜空は冬の星空になり、寒いですが素晴らしい星空が望める季節になりました。1月のうぶやま天文台の星空情報の第3弾は、1月30日～2月1日にかけて、上弦過ぎの月が火星に接近する情報です。

1月30日から2月1日にかけて、上弦過ぎの月が火星に近づきます。この頃の火星の明るさは約0等級です。12月の最接近時と比べると多少暗くなっていますが、まだまだ周りの1等星より赤く明るく輝いています。月初めと比べると、火星のあるおうし座は、同じ時刻でも空のより高い位置に移動しているのがわかります。これは地球の公転により、毎日4分ずつ星が早く昇ってくるためです。

月は地球の周りを約1ヶ月かけて公転しています。このため、地球から見ると月は西から東へと日々空を移動し、約1ヶ月かけて空を一周します。月も惑星も黄道（天球上の太陽の通り道）の近くに位置しているため、月と惑星の接近はしばしば起こります。これからも月と惑星の一期一会を楽しみましょう。



上弦過ぎの月が火星に接近